

Business Report

第 55期ビジネスレポート 2024年4月1日▶2025年3月31日



株式会社 やまや
(証券コード 9994)



第 55 期 事 業 報 告

当連結会計年度(2024年4月1日~2025年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加などを背景に景気は緩やかに回復しております。一方で、不安定な国際情勢によるエネルギー・資源価格の高騰、人件費や物流費の上昇などによる物価上昇、金融資本市場の変動など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、豊かな生活をお客様にお届けすることを基本姿勢として、刻々と変化する社会環境と多様化するお客様ニーズへ対応した商品・サービスを提供し、顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

当連結会計年度における当社グループ連結業績は、売上高が1,601億64百万円(前期比0.1%減)、営業利益が54億25百万円(同14.1%減)、経常利益が55億66百万円(同13.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益が36億44百万円(同0.8%増)となりました。

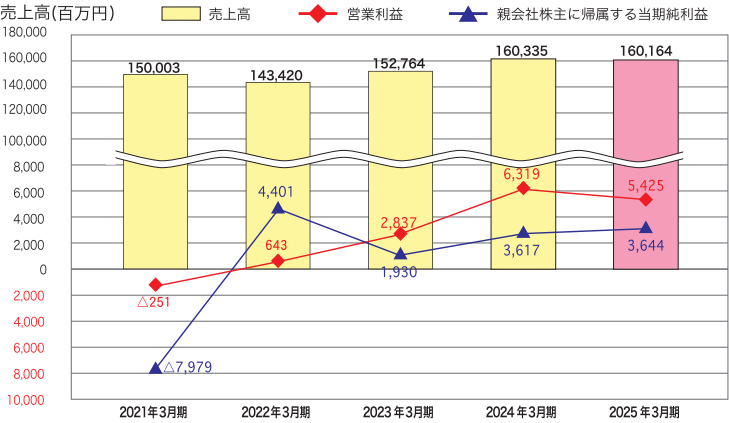
売上高は前期比0.1%減とほぼ横ばいとなりましたが、人件費や光熱費を中心とした固定費の上昇が利益を圧迫し、営業利益、経常利益は減少しました。また、特別損失および法人税等の計上が減少したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。

当連結会計年度において、酒販事業353店(前期比1店増)、外食事業622店(同14店減)、グループ合計店舗数975店(同13店減)を運営しています。

今後とも株主の皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【 連結決算推移 】 (単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売 上 高	150,003	143,420	152,764	160,335	160,164
営 業 利 益	△251	643	2,837	6,319	5,425
経 常 利 益	1,438	8,781	2,953	6,402	5,566
親会社株主に帰属する当期純利益	△7,979	4,401	1,930	3,617	3,644



第55回定時株主総会決議ご通知

2025年6月19日開催の当社第55回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報 告 事 項

1. 第55期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容及び監査結果の報告をいたしました。

2. 第55期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決 議 事 項

議案 取締役7名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、山内英靖、佐藤浩也、山内一枝、山内英房、糠塚紀久夫、土谷美津子、山岸洋の各氏が取締役を選任され、それぞれ就任いたしました。土谷美津子、山岸洋の両氏は、法令に定める社外取締役であります。

酒販事業トピックス



酒販事業における売上高は1,312億87百万円(前期比0.5%減)、営業利益は39億91百万円(同10.3%減)となりました。

当連結会計年度は、訪日外国人観光客の増加に伴うインバウンド需要の取り込みを図るため、「Japan.Tax-free Shop」の表示や外国語表記の説明を増やすなど、免税対応の強化に取り組みました。また、観光需要への対応として、店内全ての商品をギフトや手土産としてご利用いただけるよう、地域ごとの特徴ある商品の品揃えを強化しました。大地震や水害など自然災害への備えとして、1週間分の災害備蓄を推奨し、自分の好きなお酒や食品をローリングストックしていただけるよう備蓄の推進に取り組みました。オリンピックやワールドカップなどのスポーツイベントの開催を受け、フランスフェアを開催するなど世界各国の酒・食品を取り揃え、観戦需要に対応しました。2025年3月には、4月からのメーカー値上げ前の仮需があり、ビール類や缶チューハイを中心に販売が大きく伸長しました。55年ぶりに大阪で開催される大阪・関西万博に合わせて、全国31都府県353店舗のネットワークを活かし、全国のおいしいものを取り揃えた「やまや万博」も開催しています。

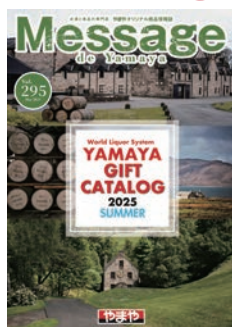
新規出店として、丸子店(福島県)、立川若葉町店(東京都)、下石田店(山梨県)、長森店(岐阜県)を開店しました。燕三条店(新潟県)は、商業施設の再開発に伴い移転し、燕店を開店しました。また、篠ヶ瀬店(静岡県)、今津店(兵庫県)、秋田業務店(秋田県)を閉店しました。これにより、2025年3月末における酒販事業の総店舗数は、353店舗(前年同期比1店増)となりました。

季節のおすすめ商品や贈り物に最適な商品を多数掲載しております。ぜひ、ご利用ください。

ギフト選びがもっと便利に!WEBでチェック!

やまやオリジナル商品情報誌

Message



毎月発行中

詳しくはこちら▶



やまやの夏ギフト



詳しくはこちら▶



お買い物を最短したい
忙しい日に **やまやドライブスルー**

CLICK & PICK-UP

Click! ネットで注文
スマートフォンまたはパソコンでアクセス!



「受取店」と
「商品」を選択!
「お支払情報」
「支払方法」を入力
して注文完了!

Pick-up! 車でお引き取り
お車まで積み込みがやまやスタイル!



お店に入らずお買い物が
便利だね!

※一部の店舗では店内引取をお願いしております。



オンラインショッピング
ぜひご利用ください。

らくらく全国宅配

<https://yamaya.jp/shop> やまや宅配 検索

外食事業トピックス



外食事業における売上高は292億20百万円(前期比1.9%増)、営業利益は14億25百万円(同23.4%減)となりました。

外食業界におきましては、人流の改善、インバウンド消費の拡大等により需要は回復しているものの、物価高によりお客様の節約志向・選別志向が高まり、原材料費・物流費・光熱費・人件費の上昇なども相まって、事業を取り巻く環境は厳しいものになっております。

このような環境の中、当社子会社のチムニー株式会社では、創業40周年を迎え、当連結会計年度において、第1弾から第8弾の感謝祭を開催し、期間限定メニューや料理家とのコラボメニューはお客様から大変ご好評をいただきました。株式会社つば八では、地方郊外店舗において、より地域に密着した運営を実現するため、つば八店舗内に焼肉席を設けたハイブリッド店の展開を進め、地域のお客様からご好評をいただいています。また、メディア戦略、WEB・SNS販促を強化したことにより、インバウンド及び国内旅行団体、宴会の集客は堅調に推移しました。

店舗開発としましては、直営店8店舗、FC店2店舗を新規出店するとともに、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)を進めてまいりました。これにより、2025年3月末における外食事業直営店は、336店(前期比1店増)、飲食FC店は、286店(同15店減)となり、飲食店の総店舗数は、622店(同14店減)となりました。

Sustainability

サステナビリティ

やまやグループは、「お酒」と「食」を通じて「持続可能な社会の実現」に貢献します。



酒販事業

- 環境** 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進
- 環境** 再エネ100%電力利用によるCO₂排出量削減の推進
- 環境** 容器包装資材削減に向けた取組み
- 地域** 海岸の清掃活動
- 社会** 東北6県の小学入学児童6万人へ楽天イーグルスキャップを提供
- 地域** 鹿児島県と「本格焼酎をはじめとする鹿児島県産品の認知度向上及び販路拡大に関する連携協定」締結
- 社会** 店頭募金活動(24時間TV・能登半島地震)
- 社会** ローリングストック推進

外食事業

- 環境** 国産完全陸上養殖サーモンの拡大
- 環境** 水耕栽培レタス提供の取り組み
- 環境** 規格外野菜・未利用魚の積極的活用
- 社会** 国境なき医師団(MSF)へ毎月10万円を継続支援
- 地域** 障害者雇用を推進し、東京都墨田区より感謝状授与
- 地域** 中・高校生のキャリア研修、職業体験を積極的に受け入れ
- 社会** 外国籍人材の積極的採用
- 社会** お酒を扱う企業として飲酒運転撲滅、安全安心宣言継続中

店舗ネットワーク

酒販事業／外食事業（2025年3月末現在）

グループ
総店舗数 **975**店

酒販事業



353店

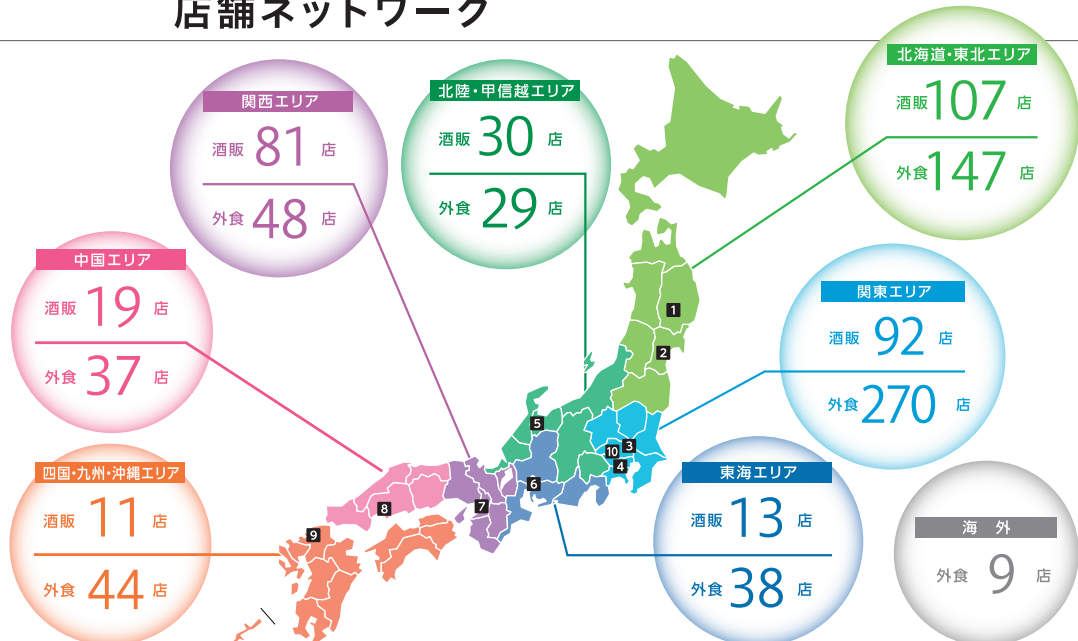
外食事業



622店

物流センター

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 北上物流センター | 2 東北物流センター |
| 3 関東物流センター | 4 府中物流センター |
| 5 富山高岡物流センター | 6 名古屋物流センター |
| 7 大阪南港物流センター | 8 広島物流センター |
| 9 福岡物流センター | 10 チムニー物流センター |



株主ご優待券送付のご案内

2025年3月31日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上を保有の株主様に対しまして、日頃のご支援を感謝し、株主優待券をお送りします。

1

「株主優待券」の
ご利用対象外商品

2

「株主優待券」の
ご利用期限

お近くのやまや店舗は
こちらでご確認ください。

<

配当金を「配当金領収証」でお受取りの株主の皆様へ「配当金の口座受取り」に関するご案内

◆予め指定した銀行や証券会社の口座で配当金を受取る方法をご案内申し上げます。

支払開始日に迅速かつ安全、確実ににお受取りいただけますので、是非ご検討いただきますようお願いいたします。

【お受取り方法について】

受取口座	メリット	受取方式
銀行口座での 受取りを希望される方 ^(※1)	全ての銘柄の配当金を1つの口座でまとめて管理することが可能 銘柄ごとに配当金の受取り口座を選択することが可能	登録配当金受領口座方式 個別銘柄指定方式
証券会社の口座での 受取りを希望される方	配当金とご所有株式を証券会社の口座でまとめて管理することが可能	株式数比例配分方式 ^(※2)

(※1) ゆうちょ銀行の口座も指定できます。

(※2) 複数の証券会社で株式をご所有の場合は、それぞれの証券会社の口座に配当金が振り込まれます。また、ご所有の株式の一部が特別口座で管理されている場合は、この方式は選択できません。

【配当金の口座受取りに関する「お手続き」「問い合わせ」について】

- ◆証券会社の口座で株式を管理されている株主様：お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ◆証券会社に口座をお持ちでない株主様（特別口座管理の株主様）：以下の株主名簿管理人までお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711（通話料無料、受付時間：土・日・祝日等除く平日9：00～17：00）
大阪証券代行部 0120-094-777（通話料無料、受付時間：土・日・祝日等除く平日9：00～17：00）

株式メモ

- 事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会：毎年6月開催
- 基準日：定時株主総会（毎年3月31日）、期末配当金（毎年3月31日）、中間配当金（毎年9月30日）
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日。

- 株主名簿管理人／特別口座／口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1（電話：フリーダイヤル0120-232-711）
- 公告：電子公告により行います。<https://www.yamaya.jp/pages/ir/koukoku/index.html>
やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。